

インフルエンザ週報 2015年 第10週 (3月2日～3月8日)

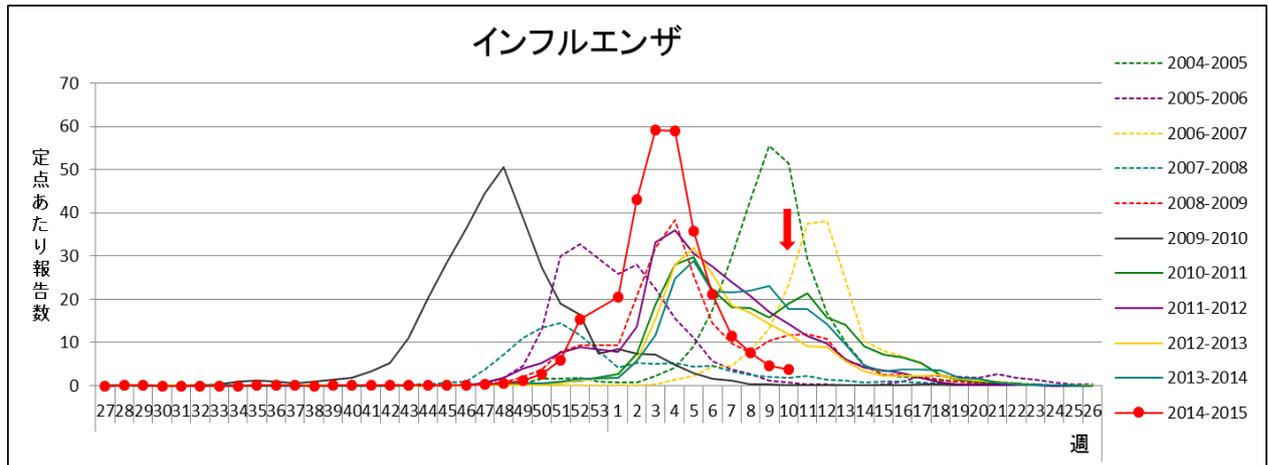
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で323名（定点あたり4.55 → 3.85人）の報告があり、前週より減少しました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が11施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

【第11週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が9施設でありました（3月9日～11日）。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で323名（定点あたり4.55 → 3.85人）の報告があり、第3～4週をピークに6週連続で減少しました（84定点医療機関報告）。岡山県は、3月5日に「インフルエンザ警報」を「インフルエンザ注意報」に切り替え、ひきつづき注意喚起を図っています。

地域別では、備北地域（8.00人）、倉敷市（6.00人）、真庭地域（5.67人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。流行のピークは過ぎたものの、依然として学校等の臨時休業も報告されており、しばらくは流行がつづくと思われます。

『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』『十分な睡眠を取る』など、感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザは依然として流行期にあります。 ひきつづき感染予防に努めましょう。

【予 防】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【かかったかな？という時には】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	323	↘	備 中	患者数	60	↘
	定点あたり	3.85			定点あたり	5.00	
岡山市	患者数	46	↗	備 北	患者数	48	↗
	定点あたり	2.09			定点あたり	8.00	
倉敷市	患者数	96	↘	真 庭	患者数	17	↘
	定点あたり	6.00			定点あたり	5.67	
備 前	患者数	37	↘	美 作	患者数	19	↘
	定点あたり	2.47			定点あたり	1.90	

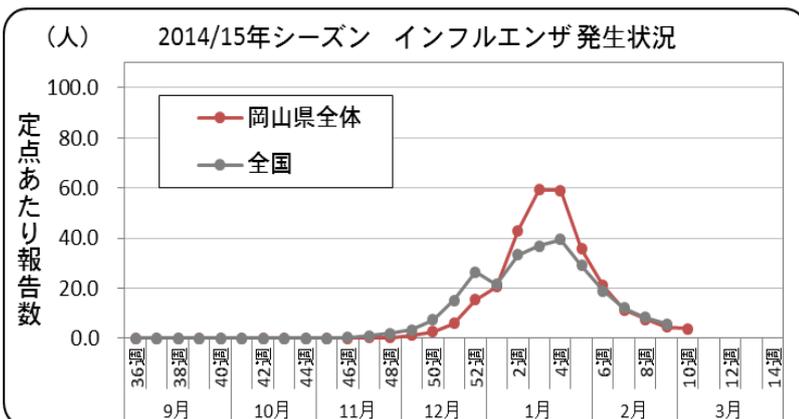
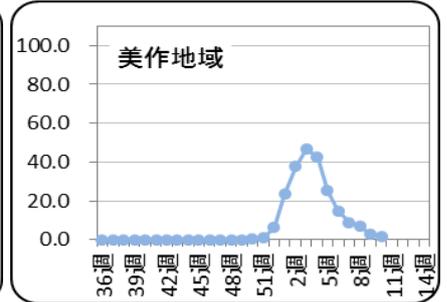
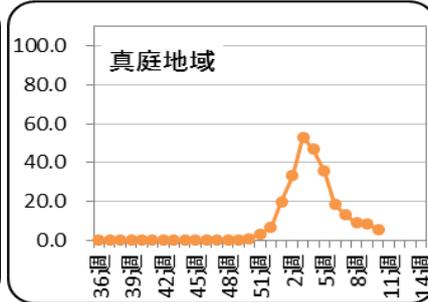
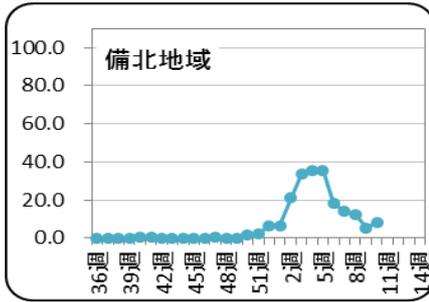
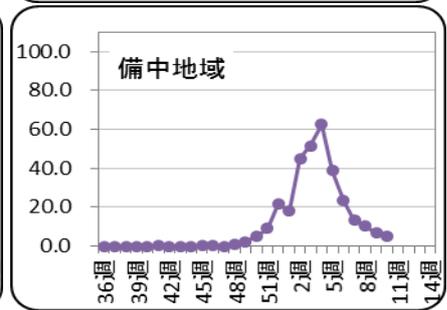
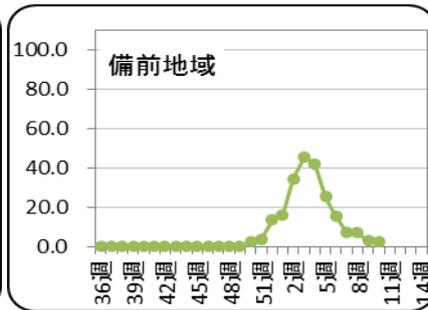
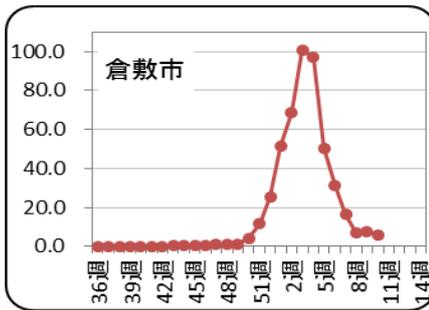
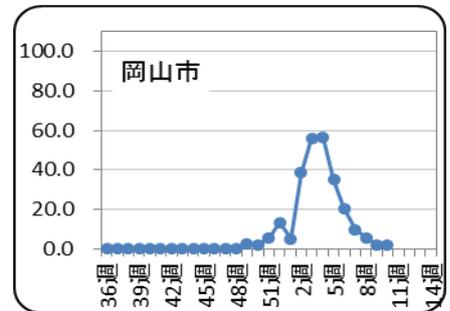
【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

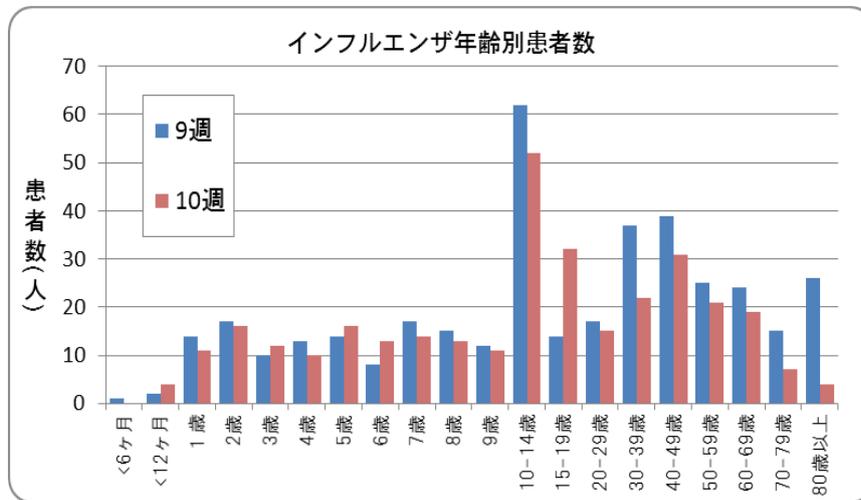
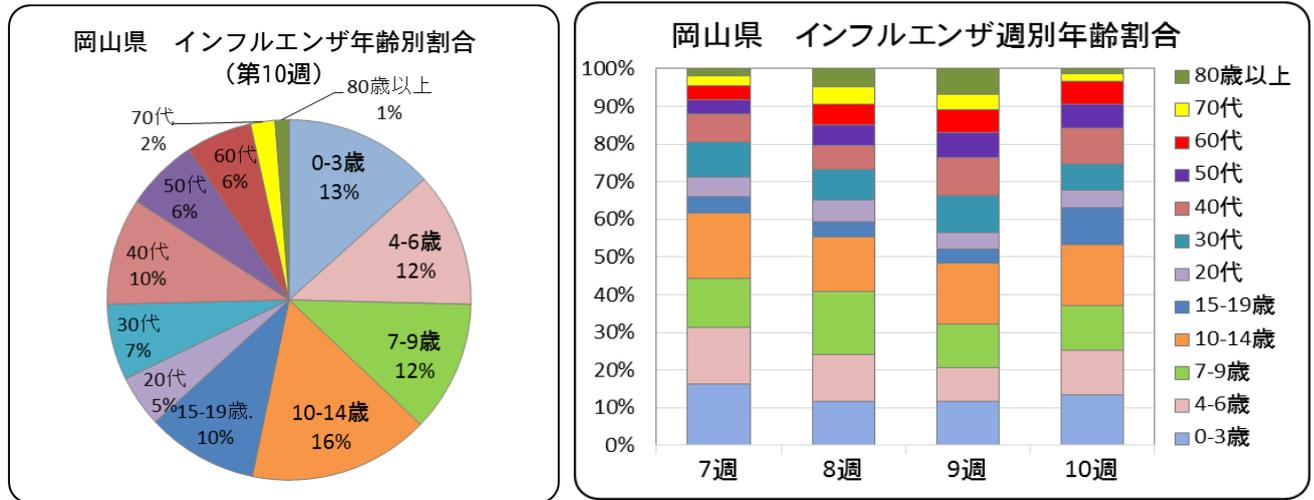
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10未満		0



全国集計第9週（2/23～3/1）速報値によると、全国の定点あたり報告数は5.88人であり、前週（8.26人）よりも減少しました。全ての都道府県で、前週の報告数よりも減少しています。

2. 年齢別発生状況

第10週の年齢別割合は、10-14歳16%、0-3歳13%、4-6歳及び7-9歳12%の順で報告数が多くなっています。



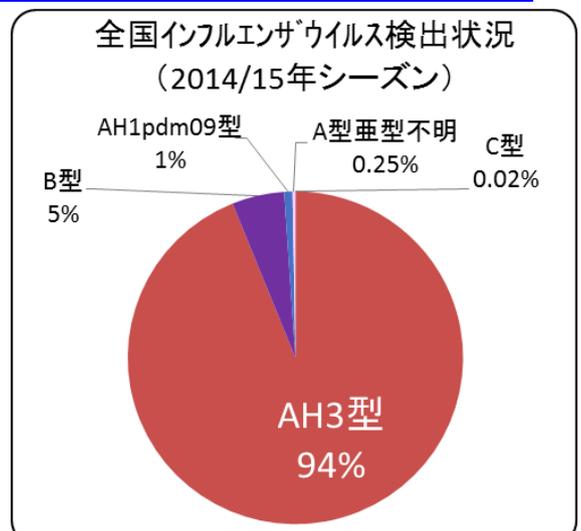
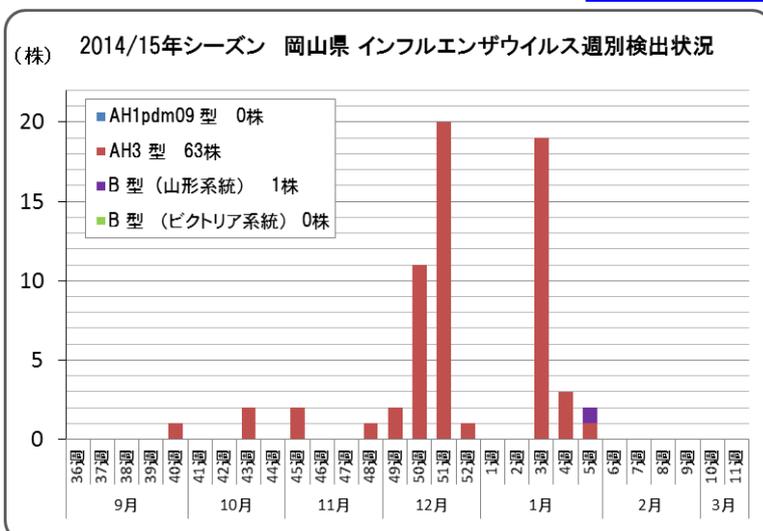
3. インフルエンザウイルス検出状況

第10週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が63株(98%)、B型が1株(2%)となっています。

[岡山県 インフルエンザウイルス分離・検出状況](#)

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、岡山県と同様、AH3型の検出割合が最も多く94%、次いでB型が5%、AH1pdm09型が1%の順となっています。(2015年3月12日現在)

[インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立感染症研究所\)](#)

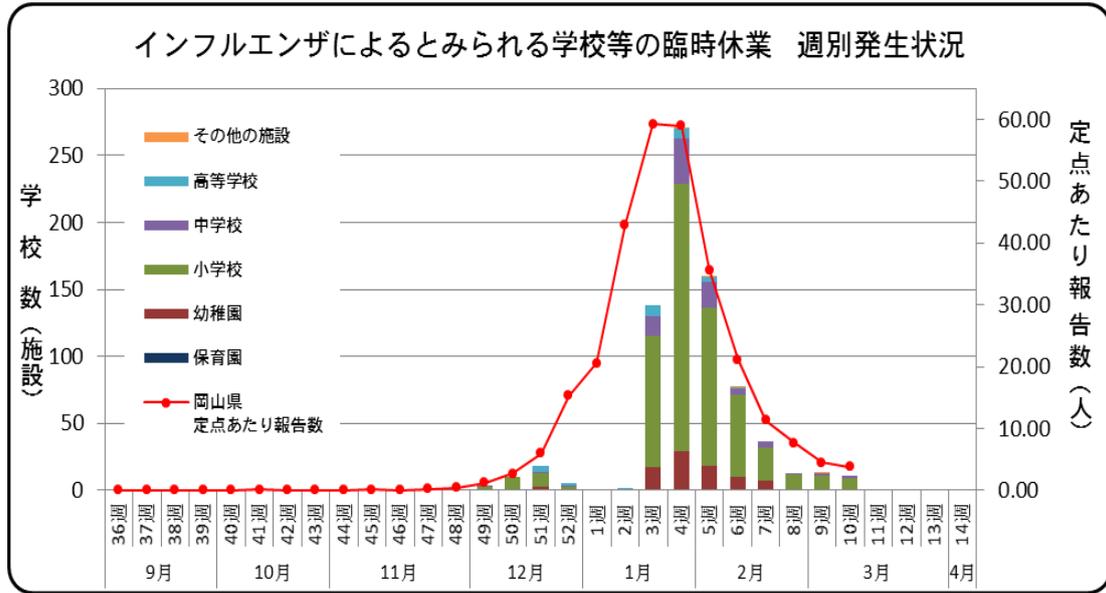


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 11 施設でありました。

【第 10 週 臨時休業施設数】

▽倉敷市 4 ▽井原市 2 ▽高梁市 2 ▽岡山市 1 ▽総社市 1 ▽久米南町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	117	12039	89	9390	11	762	0	16	3	188	8	558	H26.10.21
岡山市	14	4968	13	3733	1	293	0	2	0	40	1	251	H26.12.1
倉敷市	58	2884	37	2348	4	160	0	3	0	24	4	133	H26.10.21
備前地域	0	723	0	609	0	59	—	—	0	22	0	37	H26.12.9
備中地域	19	1558	19	1239	3	124	0	5	2	51	1	68	H26.12.8
備北地域	22	331	16	180	2	12	0	1	1	6	1	5	H27.1.16
真庭地域	0	205	0	172	0	19	0	1	0	10	0	8	H26.12.16
美作地域	4	1370	4	1109	1	95	0	4	0	35	1	56	H27.1.13

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第 10 週 : 11 施設

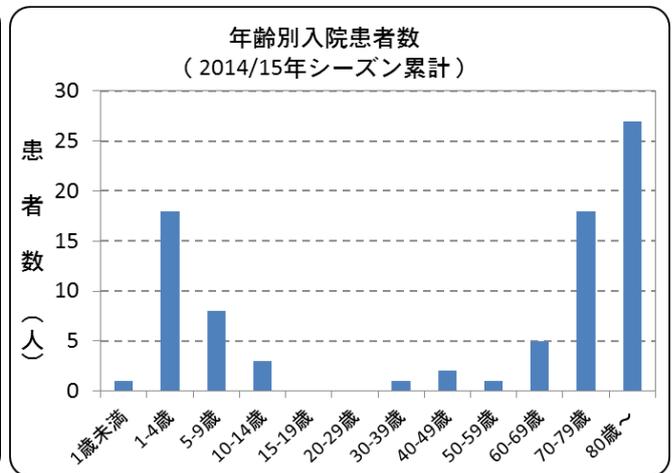
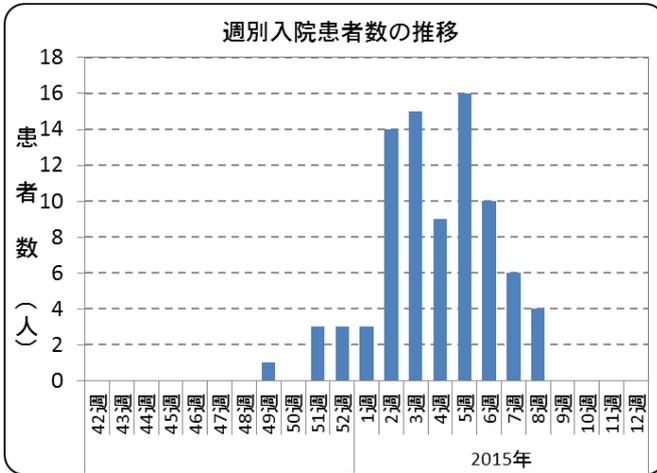
累計 : 762 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	1	86	8	560	2	87	0	25	0	4

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告は、ありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【2014年9月1日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	18	8	3			1	2	1	5	18	27	84
ICU入室											3		3
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)		5								2	4	3	14
頭部MRI検査(予定含)		1		1							3		5
脳波検査(予定含)		1									1		2
いずれにも該当せず	1	13	8	2			1	2	1	3	12	24	67

*重複あり

